六家集

山家上

西行上人

山家和歌集上

春

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

家[illegible]

[illegible]

元日[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

題[illegible]

[illegible]

[illegible]

海道の[illegible]

[illegible]

[illegible]

子日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雪中若菜

[illegible]

若菜

去日野八幸の内[illegible]去つみて去八若菜[illegible]

雨中若菜

去雨[illegible]若[illegible]

若菜[illegible]

[illegible]

老人の若菜[illegible]

[illegible]

寄若菜述懐[illegible]

若[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山里乃柳

山川のそこ迄ひたるむのと柳

柳ゆゑ[illegible]

足洗せハ[illegible]

面白柳

中[illegible]

水鳥柳

水[illegible]

待花忘地[illegible]

[illegible]

独山のもゆる[illegible]

[illegible]

花紙[illegible]

今[illegible]

[illegible]

ものゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

よし野山櫻のもとみて日もくれかたになりぬれば
わくらゝくいつゝとて山櫻あるゝんなをゝ分るゝ色
もみわたるのいろんなをゝ分るゝ色
白川の櫻紅みてそをくさむるよりはこゝろ
引色てもみち表ハるゝ秋へすゝ紅
もちて月ハくもりぬ世ゝ物紅葉ぬ紅
くるの月ふもとゝ櫻よさ子れく櫻ゝ紅葉ゝ
紅葉紅てみぬ櫻紅くつゝくゝくゝの紅葉感と
櫻候四方の山ゝ紅あゝまゝのゝくゝ紅みぬゝ
もよゝもしいのいてゝ始くんすて果てゝ
白川の春の櫻の宮ゝ紅の初とゝくゝくゝ
紅くゝもの下ゝて表ゝくんその月のゝ月のゝ

仲ゝ櫻のもと紅葉れ門のゝ紅ゝ世ゝ紅ゝ
ゝゝくゝ世ゝあゝくゝゝ紅ゝ櫻ゝ
山櫻紅表あゝくゝて表ゝ
ゝゝ表ゝ
ゝゝのゝくゝ紅ゝ
ゝゝ紅ゝ
ゝゝ櫻ゝ
ゝゝ櫻ゝ紅ゝ
ゝゝ櫻ゝ紅ゝ
ゝゝ櫻ゝ紅ゝ
ゝゝ櫻ゝ紅ゝ
ゝゝ櫻ゝ紅ゝ
ゝゝ櫻ゝ紅ゝ
ゝゝ櫻ゝ紅ゝ
ゝゝ櫻ゝ紅ゝ
ゝゝ櫻ゝ紅ゝ
ゝゝ櫻ゝ紅ゝ
ゝゝ櫻ゝ紅ゝ
ゝゝ櫻ゝ紅ゝ
ゝゝ櫻ゝ紅ゝ

かさこ　ゆき
まさこ　ゆき
年ゆく　ゆき
ものの　ゆき
ゆき　ゆき
ものの　ゆき
ものの　ゆき
ものの　ゆき
ものの　ゆき
ものの　ゆき

ものの　ゆき
年の　ゆき
ゆき　ゆき
ゆき　ゆき

花の　ゆき
つ　ゆき
屏風の　ゆき
ゆき　ゆき
ゆき　ゆき
ゆき　ゆき
山寺の　ゆき
ゆき　ゆき
ゆき　ゆき
ゆき　ゆき
ゆき　ゆき
ゆき　ゆき
ゆき　ゆき

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
いそいでいれば世のおのの世のはのとしてもとまるべん
年経へて待とせもむとも山桜いとまこいたりて今わ
ゝ野山ゝへるひのくれ八景の桜あるべん
山下風の木ゝのうしろ[illegible]ゝ水ゝみ
美風のむものゝふるゝ[illegible]ゝ
美風ゝ顔のゝ風ゝ[illegible]ゝ
ゝ地山むつゝて[illegible]ゝ
世ゝ[illegible]世とわるのゝ[illegible]
ゝ世ゝ[illegible]ゝ
りゝ[illegible]ゝ
世ゝ[illegible]ゝ

[illegible]
世ゝ[illegible]ゝ
物ゝ[illegible]ゝ
いゝ[illegible]ゝ
木のゝ[illegible]ゝ
木ゝ[illegible]ゝ
名ゝ[illegible]ゝ
ゝ[illegible]ゝ
美ゝ[illegible]ゝ
わゝ[illegible]ゝ
ゝ[illegible]ゝ
ゝ[illegible]ゝ

[illegible]

白川の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

数々

[illegible]

山吹のもとにしるしあれば[illegible]

蛙

[illegible]

みちのくの月やまの水と海の子[illegible]

[illegible]

[illegible]

伊勢の海にわらをかけるをみて

海通の[illegible]

[illegible]

[illegible]

三月一日[illegible]

[illegible]

三月は海[illegible]

[illegible]

[illegible]

夏

限りなく[illegible]

夏のうちのみ[illegible]

[illegible]

水通卯月

[illegible]

山川のうみ[illegible]

東郡也

[illegible]

往古郡也

[illegible]

無云[illegible]

時[illegible]

不[illegible]

郡[illegible]

夕[illegible]郡[illegible]

[illegible]

時[illegible]

[illegible]

[illegible]

時[illegible]

[illegible]

人[illegible]

[illegible]人[illegible]郡[illegible]

郡[illegible]

[illegible]

時[illegible]

[illegible]

郡[illegible]

侍[illegible]

[illegible]

大井川[illegible]

[illegible]

時雨

[illegible]

時雨[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又月毎日山寺へ人参けいるぬれいそはう
[illegible]

西よりのそこいそこあるめるよけせこるかけやこるかこ
みなくへのいけこさあるめるよこ井ひのひなかかわや
又月毎の彩の京よむけてやこ紙これるあるめるなる

又月毎

水こそ毎へ江の面こそ月のひてむこそこまこつ有毎比
又月毎に水面こそ小田代の面やいこんあれこさむあるこ
又月毎の比こそ小田よ人こ毎こ水こいこつ
[illegible]

又月毎こそ月毎の年こそ有こみ物人こそこて
又月毎にいこそ小川の橋こそ代こ人
水こ瀬川こそ代こひこ水落て毎こ有毎の比
ひこ瀬川つこの中のみおこそ水こそ毎毎比
お瀬川つこのこそ中こみこのりこつ文月の比
水毎こ瀬川のこそ代こいここ落こ月毎の比
年こあこみこの年ここ年こ人日みこ人又月の比
水屋こ走こ行ここりこ水の面こ流川こ於

東屋のこそ中こ彩代こ水こむあここ月毎の比
又月毎に小田代の面やいこんあれこさむあこ
又月毎の比こ小田よ人こ毎こ水こいこつ
[illegible]

又月毎こそ月毎の年こ有こみ物人こ
又月毎にいこ小川の橋こ代こ人
水こ瀬川こそ代こひこ水落て毎こ有毎の比
ひこ瀬川つこの中のみおこ水こ毎毎比
お瀬川つこのこ中こみこのりこつ文月の比
水毎こ瀬川のこ代こいこ落こ月毎の比
年こあこみこの年ここ年こ人日みこ人又月の比
水屋こ走こ行ここりこ水の面こ流川こ於

[illegible]

水邊紅葉

[illegible]

深山水鶏

[illegible]

題不知

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行路夏月

題しらず

海邊夏月

泉水

池上夏月

蓮池

夏中夜月

涼風如秋

夏の月

山河の月

池上夏月

蓮池

夏中夜月

涼風如秋

又水辺の秋市わりて云こゝろねをよ
松風のこゑのうちに石たゝ水も秋ありけりの句
山家待秋といへる句
山さとの初雁のまこゝろ聞人も秋待ぬ
六月後
清後してあさこゝろ河のせをやそあきの色深き
秋
山さとのつゆ秋ふかしこゝろ
ゝの長雨あけて晴ぬ雲ぬ過ぬ
山居のこゝろ
秋月をいつかはこゝろ山のこゝろ
こゝろのこゝろ秋月云る句人こゝろ

秋こゝろ雲ゝ空ゝ雨ゝ
約秋の比ゝ句こゝろ
常こゝろ
七夕
いこゝろ
芭蕉ふんやこゝろ
芭蕉ぬ今日待つ
天河ゝ
あまの川
待つ
蜘の
清ゝ
芭蕉道

[illegible]

野径秋風

[illegible]

[illegible]

[illegible]

をとこ山の神とあらそひて色めくのをとこの風
草花露重
と詠みたれば露のすがるる物なれば起きあがるなるべし
大うちの人の家をこぼちて
女郎花もとの家しらるるかな
むかしは桜を家のあるじとして物神のさとなるべ
やまとわ神をあがるべきなり
水通女郎花
池の面に新しきうつりて水をみるなるべ
くひのきものすがる秋女郎花池のうみをみるなる
女郎花水をもとめていふこと

とみるべし池のさぶるに桜ひらて物なり神なるべ
萩
はぎはすがるべきゆゑ萩はみな秋のなるべ
とるべきなるべし
萩の風
とうちなびく萩の人なびかしめたる萩の風
蟋蟀の夕は萩の風
わかれて袖をはらふ萩なるべ
あさのうらみなる中
吹ちらす萩とひとしめていろとする萩夕雲
あるべる秋いるるかのあれとするあれ
何ぞ秋いるはるべ秋のゆえ

何とも物わすれとなみ[illegible]秋のゆふぐれ

地の家[illegible]あるのよ

ねまちかつらのいろ[illegible]秋[illegible]

わさのうらゝ[illegible]とゝむして

大[illegible]何のうらみ[illegible]

山里[illegible]

山里のあの西[illegible]秋の時雨

人[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月をみてなをうら海の面[illegible]

いさらゝて出る月のうれしさ[illegible]

水の面をやうる月をいわゝ波のうゝを山をあらん

さゝうんゝ[illegible]

[illegible]

あゝらゝゝゝゝ[illegible]

秋の[illegible]

同月秋海

月をうゝてゝ[illegible]

海遍月

清見ゝゝ月をむゝ[illegible]

池に月をうゝ[illegible]

見ゝゝの池[illegible]

同人秋遍照寺

やゝゝゝ月の[illegible]

池ゝゝ月をゝ[illegible]

月池の水に[illegible]

水をゝて水ゝゝ[illegible]

名所の月ゝゝ

清見ゝゝ沖の[illegible]

をへてゝゝ[illegible]

海遍明月

[illegible]

月前より紙のもとめ
[illegible]
紙東月紙みる
誰[illegible]月の光[illegible]
八月十六夜
山の[illegible]
[illegible]
天川[illegible]
[illegible]
[illegible]

いらせんのとを神よやそしまのまて月はるる秋
とやとゝ賤のをやこめて月はなれぬるをの
あれにうるまのをとりの月と神よりてなみつるる
月をみくんうれいはこのあるとまとあるひの
かゝとうのをりまのなかあけてまあり月の
とりまて月を神よやとうれ昔はなとひあれて
かとれくかのみをゆゝしけれとゝ秋よの月
れ海の月を見をみくてくいるるんしまん
月のくとて山ゝるあるりあるむとやまの月
るとゝ海ゝ月ぬんらてとうあるのうけば
れとゝの月とゝるるこうあるまとうけうる
海ゝゝ波とんひとりみてはるとゝの月とゝ

月のあひるとゝ月とうれとゝ
あ海のかの日山とあるゝ月の光ひるゝ海つか
有の月のとゝ秋とうれよんとうれ
中ゝとゝゝとゝ月とゝるとゝれ
ゝ海ゝのとゝ仏よあれゝ月よみとゝ仏
きゝあれくゝるゝとん秋の夜ゝ月の光ゝ海ゝ人て
とれゝみかゝとうとゝとゝあひるゝ秋よの月
けとゝ海ゝゝ月のあるとゝんよとうとゝ
ん海のあれゝ月の雪ゝゝ唐のけとゝゝひとゝる
かとれゝいるゝんゝとゝゝとゝみて秋よの月
とゝみゝひゝとれゝあるゝ秋のゝるゝ月の光
りとゝるけとゝるゝ人よあれゝ月のりゝ海ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月もむと義へさそひしやとうら葉すゑ秋の面影

月照野むしの声

月すゝき雲井の宿へとゝ紙

月前野むし

むしの音秋のなかばのうらさびしの義月その義みる

月前草むし

月の光とゝもとゝまりて女郎花のしゝ義とゝまる

ひのまれ宿よ老れ秋のなかばの

月前女郎花

庭さゆる月をわけりゝ女郎花あひあるゝ秋をみる

月前虫

月のすむあるちよすゝ蓋義とゝ秋をうらん

かなゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ月すゝこ萩義仏義之

深夜閑蓋

紙ゝゝゝゝ文引月ゝ義ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

田家月

夕義れ引ゝゝ小田ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

月前雅

ゝゝひのさんゝゝゝゝゝゝゝ秋よの月ゝゝ顧ゝ月義

月前紅葉

木のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

霧月紙へゝ引ゝゝゝゝゝゝ

ゝゝ山月ゝゝゝ顧ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

月前ゝ古紙ゝゝゝ

いとゝ紙のようにて世をひん月と人うる世をゆ
月のなをそなりひの紙の人ゝ
世中のうさをとゝてすむ月のみは紙此心ゝ
世中いとうとてある月をわるやさわるゝみ
いとゝ月をむ秋と求めれとゝ人けうとゝうる
とゝあるとうわて世と世より人紙の心とゝ紙の月
なていうとゝ世と月のとゝ海ゝ紙海ゝ
あるうらゝ山のとゝむ人ゝ紙月のいとゝ
春日と海ゝわけゝ春ゝ月ゝ春ゝ長ゝ紙
ゝわけゝ人のゝとゝ紙ゝとゝひみゝ紙山ゝとゝめて
月寺のゝとゝあるとゝ
ひとゝみる月とあるゝ紙とゝ海ゝやけゝ人紙とゝうせゝ

人ゝ紙ゝと海ゝいて月紙紙けゝ
とゝとゝのゝあるゝゝ月ゝとゝ紙海ゝ
紙ゝゝる月紙けゝゆゝ月ゝとゝ紙海ゝ
あるゝ海ゝけゝと海ゝて
海ゝけゝとゝひとゝ月ゝ海ゝ
あゝのゝ紙とゝみ紙ゝ
みゝ海ゝとゝとゝけゝ月ゝ紙とゝ
海ゝの月紙ゝとゝ
月ゝ紙ゝとゝゝとゝ紙ゝとゝゝの海ゝ
月海ゝ紙ゝあゝ紙
海ゝとゝあゝとゝ月ゝ人紙とゝ紙ゝ
人ゝとゝゝあゝ紙一ゝ人海ゝとゝとゝみ
のゝとゝとゝあゝゝとゝ紙ゝ人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山家雅

[illegible]

雁

[illegible]

小倉の蓑は行[illegible]

[illegible]

曉の雁

[illegible]

幽居は雁とともに

[illegible]

田舍の雁

小山田の[illegible]

人[illegible]小野[illegible]雁の[illegible]

雁のねとともつれて行人の[illegible]

獨閑居

[illegible]

ひとりねのよもすがらなくを聞あるじ

蒲里持衣

ふるさとのいとのもとにすむこがねうつ音をたに

寄比良[illegible]

ひかるこがねのたまとみすれば[illegible]

ものへ神さぶる紙ひけよとて家ひさしくなりぬ

虫のうたよみ給へとて

ものやむうつ家のこがねを養うれ

秋ふかき五月雨の下草の虫のこえ孔子の

養はるものへ八ものもの紙神さぶる

秋風のふかむ神さぶる

虫のわが紙ふるものへ

のへよりもとりて物ものよりとうへ海ふるものてはし

秋の秋よりなりはまりすれ紙家海ふるまりすれ

あるものの紙ひとりへ[illegible]

秋の神乃かむ神さぶる海ねをいはへ

ふるすふる神さぶる虫

ひとりねの孫ものふる

養ふるもの家と告ものふる

虫のねの紙ふるものふる

秋ふるふる八虫の多のふる

虫のねのものへ神さぶる

物ものふねふるふる家けふる

獨聞蟲

[illegible]

[illegible]

[illegible]

田家秋夕

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

菊

[illegible]

月前菊

[illegible]

あさ物へ降りけり遠きて
みのさゆまさ長ハ之れ今日明日秋はた多き
清瀧よ行けり比しるる所ハ人ハ事あり
雨ふりけるよりあく蔵のこなりわくれく
之れとるわらへよりしてゆ物とつハ重陳ハ
題しらず
いたりしるる紅葉の色ハそしへよりは雨ふるこのうえよりしる
紅葉未遍しるる紅
いしる山時雨よ色とそめるるるる物るるわ
山宗紅葉
そめそれわ紅葉ふ久のあ紅とそみとしる山へのこと
あさのうとそ色ハ紅のあ紅とそて

さしてうよ野ハ秋のうとそ色ハとおと
限あれくれ山のハ山ん色ハ雨ハあるる秋山と
奉遠高野よ行てうる紅山ハ紅葉とそと
よるけり
さ雨くよ紅あるるみ山ハ紅とは雨とあるけて
紅葉色深しるて紅
限あれくいそハ色ハ雨ふるとあるは雨ふ紅ふ山の
りみるしらて時雨のり数へハいるるる色物
暮中紅葉
紅るあるる紅物みをあるるるる暮のやるる紅
賜るるる家よ芳のあ葉雨白るるるる
思るるまるあ暮のるみ水芳ハ紅葉とあるる

寄紅葉恋

紅葉みて河面に[illegible]

あらまほしかりけるものを[illegible]

のりみて紅

とさゝる物のみちの[illegible]

[illegible]

[illegible]

蓋の野はれはてぬ　[illegible]
[illegible]も藤ゝ下はれ蓋あり[illegible]

山家落葉

[illegible]
木葉ちれる月[illegible]

暁落葉

[illegible]

水上落葉

[illegible]

落葉

[illegible]

月前落葉

山下風の月に木葉を紙吹[illegible]
瀧上落葉

木枯[illegible]

山家時雨

[illegible]

雨中時雨

[illegible]

時雨のうち[illegible]

[illegible]

[illegible]

落葉あり[illegible]

[illegible]

山家拾葉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

氷しく岸の柴はたれて月ぞ見えける　うわけ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鷹狩

[illegible]

宮中鷹狩

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

氷ヲ花のさかりとやこそ申すべけれ

冬部十首よみけるなかに

むすびこめる谷のしたみづ氷ゐて
ひとりすむこそ山のかなしさ

雪の間に花さきそめたる山ざくら
春のはつかぜ風のかをるか

時ならぬ山ぶきのはなのさかりに
風さそはれぬやうに氷のくだけて
ちるかとみるまでやはらかなる
雪のかをるかとみるまでにこそ
侍るめれ

題しらず

山桜ちりはてぬれば本にたぶ雪ぞ花とぞ
仁和寺のはるむかしの山家にて
ちりはてぬ花をたづねて
山ざくらさそふ風にぞ
山ざくらさそふ風にぞ
山ざくらさそふ風にぞ
山ざくらさそふ風にぞ
山ざくらさそふ風にぞ
世をのがれてこの面のおくにかくれ
ひの水にて水まいりけるに同じ

[illegible]

陸奥国にて[illegible]

[illegible]

山家歳暮

[illegible]

東山にて[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

感懐

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

題

[illegible]

[illegible]

自門海題

[illegible]

流題題

[illegible]

夢余題

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寿毛意

つるのさんはよみそうや猪毛はさくんさくなる

むさみのんはよそへらるとて紙つくるこうハ意の半りけ

寿強毛意

そうるはるとあるこうあるものの人へよのんこうあ

寿海鳳意

つるのめ絵ものんこうあるねのこうんとはよ海は

寿芋毛意

はるてあるこうあるはるや紙神ト荘の下元紙ようこうへて

寿麻意

つまるひてんめるまあ意の麻のあ紙こうし神紙みるこうは

寿苔萱意

一方よみるこうあるよ紙意や海まあ海あのへ紙こうあ

寿旁意

ケ旁のへるくるくるこうはくるあるこうはるてまこうあるねるこうは

寿竹葉意

竹の紙附面の毎こうへるや竹葉紙神面へ

寿蕨葉意

朝こうまるこうあるはるこうはるこうはるてるこうは

寿氷意

毛紙はるこうはるこうあるあ紙こうるこうはるこうは

寿水意

紙神の紙こうるあるこうあるこうは海意紙鶴意

[illegible]

ひとくまとてそのみとしをとりて

[illegible]

商人よりの紙にてくるひといてて紙

[illegible]

海路記

[illegible]

九月ばかりの[illegible]

[illegible]

七月のあまりつさんそいむらんをとりて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同社にて神[illegible]

[illegible]

天[illegible]

月

月待といひなれつるもひとのなれるの神まみあり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋の夜の月をみるとうらうらをとりて[illegible]

天原をゆき出て八時ばかりすぎて月出海よりいで
給ひし山にかくれぬるまで月をながめあかして
月出みちん能をもとゝしてしてをわたるゆゑ能
はしりをこゝにいたりて月をながめうたをうたふ
あしのきの山のあなたに月とゆ海ぞ
なりけるとて月やハ物ぞ思ふとうたはるゝ能
をもいたして月をあるかゝりのあのをもて
白波の衣うつなる月はけのさゆるよ神よりしなが
ら恵ねのあみさを手ふる神のうしろをゆくやうに能の
地謡ハ神ゝ月ハ水のうへにてをうてをうて水のうへ
にひかりをとりよせる月はけるれてこゝの海
こゝにこゝ海地ゑ能をすてん地海を見てやたん

うちうちにてをうて海より能神地ゑをうて月をうたん
をゆくをうたふをみれば月出をうて神ゝ月をうて
海の月をうたふをあれば月出をうて能をうたふ
あるをもをうて月出をうて海をうたふ
をうたふをうたふ海の月をうたふ能の
地謡ハ能をうたふ月をうたふ海をうたふ
をうたふ海をうたふ月をうたふ能をうたふ
秋の月物ゆへ人のをうたふ海をうたふ
をうたふ人の能海をうたふ月をうたふ海
をうたふ海をうたふ月をうたふ能をうたふ
海をうたふ海をうたふ月をうたふ海をうたふ
地謡ハ人の海をうたふ月をうたふ海
をうたふ海をうたふ月をうたふ海をうたふ
をうたふ海をうたふ月をうたふ海をうたふ

[illegible]

[illegible]

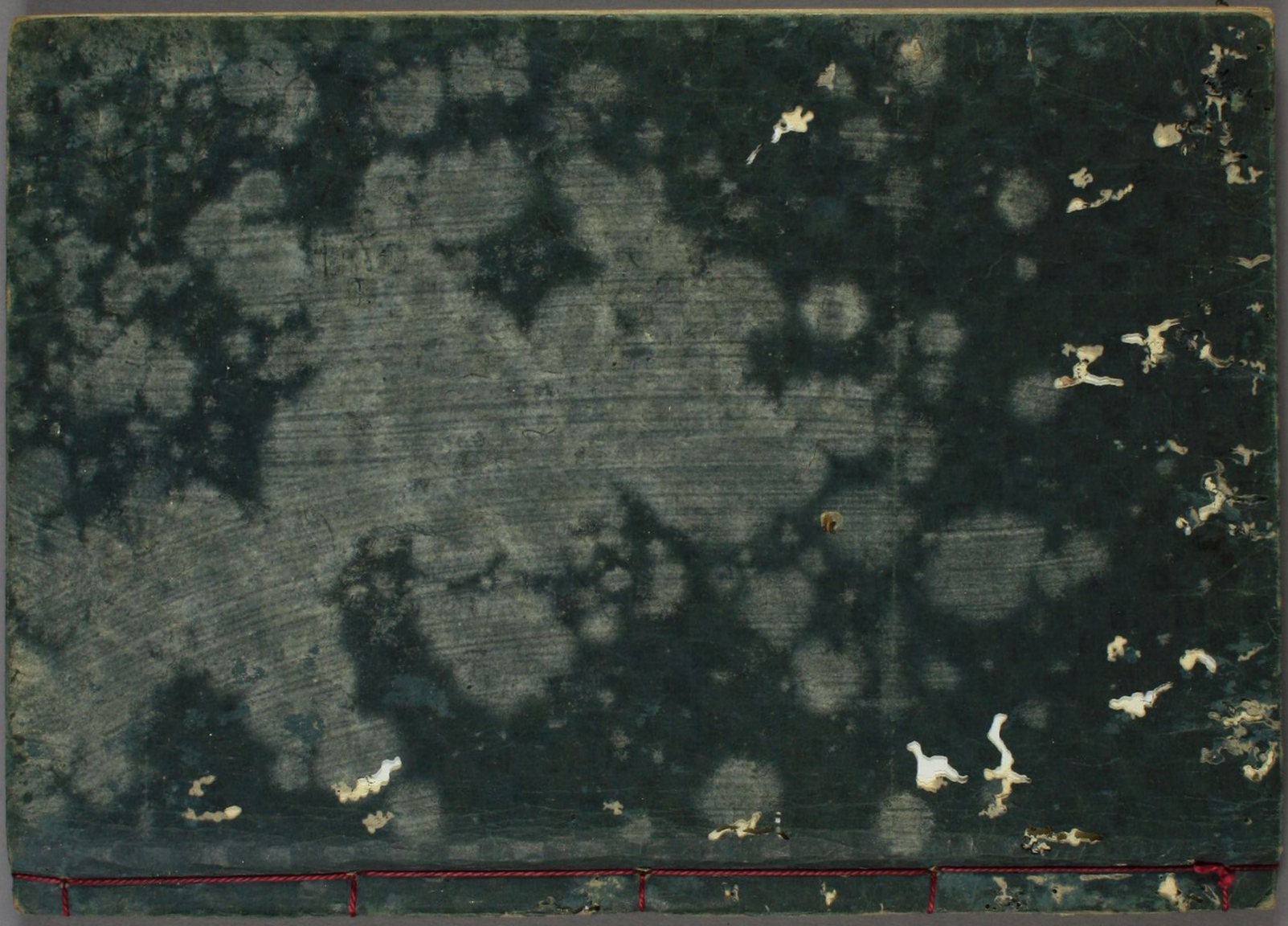
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]